

## アセスメントポリシー（学位・資格プログラム）

学校法人慈恵大学の東京慈恵会医科大学医学部医学科、医学部看護学科、医学研究科医学系専攻博士課程、医学研究科看護学専攻博士前期課程・後期課程、及び看護専門学校におけるアセスメント・ポリシーを定める。

それぞれの学位プログラムには、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、看護専門学校には教育理念・教育目的に基づき教育目標が定められている。各プログラムは、卒業までに生徒・学生が身につける「資質・能力」を適切に測定する努力を継続する。そのために各プログラムが独自で努力するだけでなく、プログラムそれぞれの経験を共有し、連携・協働して学修成果の測定を改善していく。

各学年における講義・演習・実習（臨床・臨地実習を含む）及び課外での学修成果を直接評価・間接評価の両方の手法を用いて測定し、学習者が自身の学修の進歩を自覚でき、さらなる学修へ進むために、納得性のある成績評価を行う。学習者が学年進行に沿って、資質・能力を獲得していることを記録・確認することも重要である。

学修成果の測定は学習者一人ひとりに還元されるだけでなく、教育プログラムの強み、弱みの自己評価にも用い、各教育プログラムが連携・協働して改善を行っていく。